

まちの出来事

初参加で全国進出

紋小金管バンド

紋別小学校金管バンド（佐通和佳奈部長16年、部員38人）は、9月23日に旭川大雪アリーナで開かれた北海道小学校バンドフェスティバルに初出場し、金賞（6団体）と全国大会への出場権（金賞のうち3団体）を獲得しました。全国大会は11月17日に大阪市の大阪城ホールで開かれ、紋別小は全35団体の最後に出演します。



紋別小が演奏したのは、ヤコブ・デ・ハーン作曲の「コンチエルト・ダ・モーレ」と、ジャック・モラリ作曲の「Y.M.C.A.」の2曲。同バンド顧問で指揮者の小関直幸教諭によると「コンチエルト・ダ・モーレ」はコンクール向けの曲で「力強い演奏ができた」とのこと。「Y.M.C.A.」は西城秀樹の「ヤング・マン」の原曲で、ノリの良さが特徴。ステージでは3・4年生部員のうち8人がボンボンを持って踊り、楽しさを印象づけたそうです。

部長の佐通さんは「全国大会に行けるといふ実感はあまりないけれど、みんなテンションが高くなっています。出場する団体はみんなレベルが高いと思いますが、元気な曲は元気に、きれいな曲はきれいに、自分たちの演奏ができればいいですね」と喜びいっぱい話をしていました。

故・川上満雄さんに伝達

従五位
旭日小 綴章



紋別市議会副議長、紋別市農業協同組合組合長などを歴任し、7月25日に亡くなった川上満雄さん（当時85歳）の特別叙勲（死亡叙勲）の伝達式が9月28日、紋別市長応接室で行われました。小向在住の妻、セツ子さんに代わって、苫小牧在住の長男、一（はじめ）さんが、宮川良一市長から従五位・旭日小綴章の伝達を受けました。川上さんは昭和

29年から57年まで7期28年間市議会議員を務め、同45年から49年まで副議長長の要職にありました。北海道社会貢献賞（知事表彰）など受賞歴も豊富で、60年には地方自治功績で藍綬褒章を受章されました。紋別市農業協同組合長も永く務め、農民運動にも熱心に取り組まれました。お酒が好きでおおらかな人柄が多くの人に慕われていました。

安全・安心な紋別に 「市民の集い」に約200人が参加

交通事故と犯罪の撲滅を願って関係団体の会員や市民が一堂に会する「2007安全・安心明るい紋別市民の集い」が10月6日、市民会館で開催されました。紋別市と交通安全、防犯の関係3団体が主催しました。会場には約200人の市民が集まり、安全で安心な街づくりに向けて決意を新たにしました。

式典では、富川市長、山岸明生紋別警察署長があいさつ

し、事故や犯罪の防止を訴え、一人一人の安全意識が重要であることを強調しました。

また、市町内会連絡協議会を代表して南が丘2町内会の澤正人交通部長が「安全な街づくりを努めます」と力強く宣言しました。紋別自動車学校（熊谷幸夫社長）から市内の幼稚園、学校に学校名入りの交通安全旗もプレゼントされました。今年で20回目の寄贈となるもので、各学校の関

係者、児童生徒がステージに上がり、旗を一齐に掲げて、交通ルールを守ることを誓い合いました。妙進寺の住職で、





紋別地区暴力追放運動推進協議会の佐野順常会長が「命の尊さ」をテーマに講演したほか、アトラクションとして琴

晴天の秋を満喫

3日間で
2万298人が入場
「まちなか「グルメ」が大盛況



か、アトラクションとして琴城流大正琴の演奏も行われ、拍手を浴びていました。

「もんべつグルメまつり」が10月6日から8日までの3日間、「オホーツク氷紋の駅」

駐車場で行われ、連日大勢の人で賑わいをみせました。同まつり実行委員会（渡辺忠助実行委員長）では、3日間で2万298人の入場と発表され、毎回出ている出店者は「近年にない盛況」と高い評価をしていました。今回からガリヤ地区からまちなかに会場を移して開催したことで市民も参

加しやすしいイベントとなったようです。初日と2日目は、

学習農園が収穫の秋

ミニ水田で喜びの稲刈り



網走支庁西部耕地出張所の学習農園・ミニ水田で育てた稲の刈り取りを、10月12日、渚滑小学校の5年生児童14人が社会科授業の一環として行われました。

稲は、最新品種の「なな

晴天に恵まれ戸外で食を楽しむのには絶好の日和となり、会場には北見や旭川方面からも家族連れなどが次々に来場。恒例の「オホーツクバーベキューコーナー」では、カニやホタテ、カキ、ホッケなどオホーツクの魚介に舌鼓を打っていました。

つばし」で、小さなカマで長く伸びた稲を次々に刈り取り、児童は「面白い」と歓声を上げていました。ミニ水田は36×36メートル（4坪）が2枚。6月初旬に田植えを行い、648株の稲は夏の高温で順

人権擁護委員の功績に法務大臣表彰

柳沼啓子さん 人権尊重普及に尽力

10月5日、柳沼啓子さんが東京の法務省大会議室で開催された法務大臣表彰式で、人権擁護委員として法務大臣表彰を受賞されました。



柳沼さんは、平成8年に人権擁護委員の委嘱を受け、今日まで11年間に渡り人権擁護活動に携わってこられました。平成15年から紋別人権擁護委員協議会常務委員、旭川人権擁護委員連合会男女共同参画社会推進委員を務められ、さらに平成17年から紋別人権擁護委員協議会紋別市会の会長に就任されています。

温厚な性格と豊かな人生経験から、相談は、適切なアドバイスで円満な解決に導き、地域住民からの厚い信頼を受けています。人権擁護と自由人権思想の普及・高揚に積極的に取り組んでこられた多年の貢献と功績が称えられての受賞となりました。

法務大臣表彰は、10年以上委員を務め、積極的に人権相談活動に従事した方に表彰されるもので、道内で10人、旭川地方法務局管内で3人が受賞されました。

調に生育し、児童も観察日誌を熱心につけていました。予想収穫量は13キロで、乾燥させ、脱穀、精米した

のち、児童の希望にそって「おむすび」として賞味することになっています。